

・・・ 編集後記 ・・・

「臨床検査学教育」12巻1号を発行することができました。原稿を賜りました、すべての先生方に御礼申し上げます。本号は、第14回日本臨床検査学教育学会学術大会（会長 熊本保健科学大学 古閑公治先生）のプログラムの中から、基調講演、教育講演、シンポジウム、会長講演に加え、学生優秀賞を受けられた演題について、執筆頂きました。学会に参加できなかった先生にも盛会裏に終わった学会の内容を見て頂きたいと思えます。それに加え、投稿論文も掲載されております。臨床検査学教育における工夫について、学術的な解析を踏まえ検討された本誌に相応しい内容の論文ですので、目を通して頂ければと思います。また、今後も会員の先生方には積極的に論文を投稿していただきますよう、よろしくお願い致します。

令和の時代の到来とともに臨床検査学教育は大きな転換点にさしかかっています。臨床検査技師

の教育カリキュラムの改訂で各施設とも対応に追われていることと思います。臨地実習の単位数増加を目前にひかえ、医療機関との協力体制の強化、教育内容の見直しなど課題は山積されています。AIの医療分野への応用は、臨床検査技師業務の中心である診断分野で活用が進んでいます。今回の教育カリキュラム改正をpositiveにとらえ、将来にわたって、臨床検査技師が唯一無二の存在として輝き続けるにはどうしたら良いか、そのためにはどのような教育が必要なのか、日本臨床検査学教育協議会を中心に議論がなされていくものと思います。機関誌「検査学教育」を通じ、臨床検査学の教育に関する情報交換ができればと考えております。会員の皆さまにはこれまでと変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

（令和2年1月17日 編集委員 西川 潤）

一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
日本臨床検査学教育学会 学術部
編集委員会(令和元年・2年度、五十音順、敬称略)

副理事長(学術部)：市野直浩(藤田医科大学)

委員長：齋藤良一(東京医科歯科大学)、副委員長：坂口みどり(九州医学技術専門学校)

委員：大川龍之介(東京医科歯科大学)、長田 誠(群馬パース大学)、片岡佳子(徳島大学)、
岸井こずゑ(埼玉県立大学)、櫻井進(東京工科大学)、柴倉美砂子(岡山大学)、関貴行(文京学院大学)、
多田達史(香川県立保健医療大学)、西川潤(山口大学)、藤田和博(大東文化大学)、
外園栄作(九州大学)、松田和之(信州大学)

臨床検査学教育 第12巻第1号

令和二年3月1日発行

発行人：一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
理事長 奥村伸生

〒143-0016 東京都大田区大森北 4-10-7

日本臨床衛生検査技師会内

Tel. 080-7228-0508

e-mail : jimukyoku@nitirinkyo.jp

http://www.nitirinkyo.jp

編集：日本臨床検査学教育学会 学術部 編集委員会
e-mail : edit@jamte.org

制作：(株)宇宙堂八木書店

〒104-0042 東京都中央区入船 3-3-3

Tel. 03-3552-0931 FAX 03-3552-0770

広告取扱社：(株)日本廣業社

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-11

Tel. 03-3238-7501